

北海道森林管理局 森林技術・支援センター（士別市東5条6丁目） に利用した木材に係る炭素貯蔵量（CO₂換算）

延べ床面積	国産材 利用量	国産材の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)	木材全体 利用量	木材全体の 炭素貯蔵量 (CO ₂ 換算)
357 m ²	70 m ³	48 t-CO ₂	107 m ³	70 t-CO ₂

この表示は、林野庁「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」（令和3年10月1日付け3林政産第85号林野庁長官通知）に準拠し、この建築物に利用した木材が貯蔵している炭素（CO₂換算）の量を示すものです。木材は、森林が吸収した炭素を貯蔵しており、木材を建築物等に利用していくことは、「都市等における第2の森林づくり」としてカーボンニュートラルへの貢献が期待されています。

【計算式】

木材の材積(m³) × 密度(t/m³) × 炭素含有率 × 44/12 = 炭素貯蔵量(CO₂換算) (t-CO₂)

【計算】

○ 製材	トドマツ	54.29 m ³	×	0.348 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	34.6 t-CO ₂
○ 製材、集成材	ヒノキ	3.37 m ³	×	0.383 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	2.4 t-CO ₂
○ 集成材	樹種不明	34.97 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	21.2 t-CO ₂
○ 板・集成材	トドマツ	4.76 m ³	×	0.348 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	3.0 t-CO ₂
○ CLT・板	カラマツ	1.329 m ³	×	0.435 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	1.1 t-CO ₂
○ 板	エゾマツ	0.12 m ³	×	0.374 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.1 t-CO ₂
○ 集成材	樹種不明	0.96 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.6 t-CO ₂
○ フローリング	ミズナラ	1.635 m ³	×	0.592 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	1.8 t-CO ₂
○ 構造用合板	樹種不明	4.8537 m ³	×	0.542 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	4.8 t-CO ₂
○ OAフロア材	樹種不明	0.463 m ³	×	0.542 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.5 t-CO ₂
○ ナラ館名表示	樹種不明	0.014 m ³	×	0.331 t/m ³	×	0.500	×	44/12	=	0.0 t-CO ₂
										計
										70.0 t-CO ₂

（責任者名） 北海道森林管理局 総務企画部 経理課 経理課長

（連絡先） TEL 050-3160-6281